新潟昭和れぽーと

2025年 3月 10日発行 第 31 号

2023年1月1日、新潟昭和の親会社昭和電工は レゾナックに生まれ変わりました

RESONAC Chemistry for Change

レゾナックの社名およびロゴに込めた想い

と、CHEMISTRYの「C」を組み合わせることから生まれた社 名です。当社グループの持つ幅広く自在な先端材料テクノ ロジーと、パートナーの持つさまざまな技術力と発想が強 くつながり一つの未来に向かって大きな「共鳴」を起こし、 その響きが広がることでさらに新しいパートナーと出会い、

「Resonac」は、英語の「RESONATE: 共鳴する・響き渡る」 社会を変える大きな動きを創り出していきたいという強い

こうした想いを表すため、「Resonac」のロゴデザインに ある「R」に右上がりの2本線を施し、共鳴から生まれる共創 のシンボルとし、共鳴の輪が広がり共に未来へ挑戦する姿 勢を表現しました。

レゾナックのパーパス(存在意義)は「科学の力で社会を変える」です。何十年後 かの世の中では「当たり前」になったことについて、「これはレゾナックがいなかっ たらできなかった」と言われるような会社になりたいと考えています。

Purpose 存在意義

化学の力で社会を変える

先端材料パートナーとして時代が求める機能を創出し、 グローバル社会の持続可能な発展に貢献する

Values 私たちが大切にする価値観

- ▶ プロフェッショナルとしての成果へのこだわり
- ▶機敏さと柔軟性
- ▶ 枠を超えるオープンマインド
- ▶未来への先見性と高い倫理観

新潟昭和はレゾナックグループの一員です。 主にマンション等の排水管で使用される耐火性 ・防音性・吸音性に優れた『耐火二層管継手』 や『遮音FDP直管パイプ』と下水処理施設・歩 道橋・屋根・柱等に使用される防水性、絶縁性、 耐食性に優れた『光硬化シート』を従業員と協 力企業3社合わせ40名弱で製造を行っています。

アルミ缶の収益金で寄付

今年度もアルミ缶リサイクル活動資金の中から 図書カードを阿賀町さんへ寄付いたしました。 図書カードは町内の小・中学校の書籍購入に充 てられております。(左から藤上社長・神田町長様)

2024年9月に阿賀町消防本部様のご協力を得て、 従業員と協力企業全員を対象に秋の防災訓練とし て避難訓練や初期消火訓練を実施しました。 煙の中を歩くといった普段出来ない貴重な経験を することが出来ました。(写真左の黄色いテント内)







(1)新潟の好きな (1) 「清津峡」や阿賀町の赤崎山森林公園にある展望台「天女の花筏」です。 観光名所は? どちらも絶景です。この4年間で新潟県内のいわゆる著名な観光名所を 概ね堪能できました。

②阿賀町に赴任 ②阿賀町は春夏秋冬の移ろいが絶妙で、四季折々の楽しみがあります。 して良かった また、観光地巡りという点で、阿賀町は東日本一帯の観光のハブとして ことは? 最適です。

③新潟昭和㈱の|③当社は2029年にこの地での操業100年を迎えます。これも地域の皆様 社長として最 との長年に百るお付き合いや��咤激励があってのことと考えています。 も大切にして このことを心に刻んだ上で、「無事故・無災害」、「地域社会への貢献」 いる事は何? 及び「持続可能な当社の存立基盤の確保」などを大切にして事業運営 を行っています。

④これまでの ④旧昭和電工(現レゾナック)に入社後、埼玉県、福島県、千葉県、長野 勤務地で 県、大分県、長野県(2回目)、東京都、新潟県、と様々な場所で勤務さ 最も印象深い せていただきました。それぞれ特徴があり、楽しい経験をさせていただ 勤務地は? きましたのでどこも印象的でした。

⑤子供の頃の ⑤「教員になりたい」、「サッカー選手、テニス選手になりたい」と考えていた 時期もありますがどれも叶いませんでした。ただ、特に後者につき、当時 夢は何か? は懸命に取り組んだ記憶があります。

⑥仕事以外で ⑥「物事に真面目に、素直に、誠実に、向き合う」、 大切にして 「家族(妻)と元気に、仲良く、楽しく生活していく」ということです。 いることは?

濃昭和



新潟昭和に長年貢献して頂いた製造部長 の長谷川勝行さんが2024年10月31日に、 定年となり退職式を執り行いました。 退職後も、製造部の先頭に立ち若手の教 、育に携わって頂きます。(左から3番目)



┗ お知らせ ₩

弊社では、一般及び学生の見学・職場体験などの 受け入れをしておりますのでお気軽にご相談ください。 「新潟昭和れぽーと」の内容についてのお問い合わせ先

年

職

式